	No. 31 —	1 基本事務事	業名 教育	育施設台帕	長整備事業	事務事	業名	教育施設台 帧	長整備	事業	公的関	与 2 3	シート作成日	平成30年	₹7月23日
	部局名	孝	收育委員	.会	課名	教育総	稔務課	主務認	果長名	i i	吉川 和第		ート作成者名	中	'井 卓
	事業区分	① 1 ソフト	事業		3 経常的事務	事業(5 補	助金·負担金	ì·支护	爰 申 毋	運営方法	1	直営	3 全	≧部委託
	争未应力	0 2 N-F	事業		4 施設の維持	管理(6 内部	部管理事務·	その	他	:连各万法	✓ 2	一部委託	4 補	助等
		基本構想(政	(策) 3.	人が輝き	合う阿波			実施計	·画			事	業の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施	<mark>5策)</mark> (1))学校教育	の充実			● 1 該当		平成	t 17 左	E ~ ∑	平成 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1))学校施設	との整備			○ 2 非該当	4	根	処法令等	学校教育	育法、義務教育詞	者学校施設	費国庫負担法
		対象(誰を、 何を)	市内公立	立学校及び	学校給食共同調	理場									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	公立学校	施設の現状を把	握するため	が施設台	帳を作成し、	公立学	单校施設整	備の促進に	こ資するも	のとします。		
PL		たいのか)	今年度	公立学校	施設の施設台帳	を作成しま	きす。								
AN					ヽますか。(主な										
N		① 公立学校	施設の抗	拖設台帳総	括表、棟別面積	表、配置図	、平面区	図を作成します	۲。						
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		⑤													
		指標	名	計算式又	なお指標設定理	由 単位		平成	28 4	年度	平成 2	9 年度	平成 30	年度	最終目標
	数値目標	公立学校施設、学	学校給食共	施設台帳	作 式粉	校	目標			26		20	6	26	
	(事業の目的	同調理場施設数		心汉口收	TFIX XX	13	実績			26		20	6		
	及び活動内						目標								
	容の達成度						実績								
	を測る指標)						目標								
							実績								
	予算費目	会計			会計		大 10 孝				1 教育総		目 2	事務局費	\$ ₹
				P成 2		_	29	1,2,7		平成	30 :	年度予算		備考	
		国庫支出				·円			千円			千円			
		県 支 出	金			·円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債			·円			千円			千円			
D	巨汉于不良	その他特定原				·円			千円			千円			
0		一 般 財	源		121 ∓				千円			121 ∓₽	<u></u> l		
		計(A)			121 T				千円			121 千円			
		正職員工数:		.055 人	320 ∓	円 0.055	人	326	千円	0.055 ノ		<mark>319</mark> ∓₽	9		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯													
		臨時·嘱託工数	·経費 0	.000 人	0 ∓)人		千円	ر 0.000		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			441 千	·B		447	千円			440 千円	9 I		

				-	チェック	7項目				—	欠評値	<u> </u>		_	次評価(の説り	月		二次	評価	5
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きい	庫	負担等	諸学校の に関する	法律及	及び公立	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	伏況の中、	欠年度	以降実施す	上る緊急性が 認	思められない。	0	ない	0	ある	学	校施設	環境改善 る資料を [?]	交付き	金の執	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために	、現在	Eの手段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない	17 公	□□鬨9· ☆学校	る貝科で′ の施設の	実態を	を把握し	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない	ま	す。				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	うに、事	工業内容が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえない	· O	いえる		の交付 必要です。	金などを	受ける	ために	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など	、施策·	への貢献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	,	いえる		, X C) (•			0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	る施策の中	で類似	重複した	と事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても成れ	果の向	上が期待で	できない。		0	できない	•	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	犬況が	劣っている	ると思う。		0	目標によ	とべて針	らっている			省の配布			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果だ	があま	り上がって	こいないと思う	5 。	0	あまり上	がってし	ない	۱-۱	のバーシ	ションが変			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標を	達成してし	いると思う。		0	概ね達成	述してに	る	心	いていま	ます 。			0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	こ目標	を達成して	こいると思う。		•	十分達	求してに	る						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。				0	高い	0	適当			は、文部にしていま			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主仰	体のノウハ'	うや新	たな制度を	を活用できる。		0	できる	0	できな	いや	四面平	の作成に	ついて	では委託	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の関係	系で、	実施手段等	ទを見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない		- (美施)	しています	0		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	更など	によりコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						一次評										次評					
	評值	点面	必要性	有効性		達成度 4	効率性 4	総合評	価		必要4	性		<u></u> 3 4	達成[<u> </u>	生	総	合評	価
	今後	後の			 見状維		1 . 1 - 1 34	A ○ 民間委詞	1 等	C		L 大•充϶		• • 現状		O :	 方法改割	Ę.		A 引委記	光等
A		的性	○ 縮小		/終期	_	廃止/休止		<u> </u>					合/終			廃止/休				
C												=	次評	価での	指摘事项	頁及び	「一次評	価との	の相違点	į	
Ţ			教育施設台 対しながら遂			データの、収	収集及び集計方	法について合	理化	を検											
0										幼	家的た	≀データ	⊉⊽لا∂	生 答理	!に努めま	- -					
N	وع		学校施設等々	への基礎デー	-タ収集	長方法を検討	討し、効率化を	図ります。							22						
	計																				
		曼会 事項																			

	No. 31 —	2 基本事務事	業名体育	育連盟振	興事業	事	務事業	名小中	□学校体 ⁵	育連盟	振興事業	業 公的関与	9 シ	一卜作成日	平成30年	F7月20日
	部局名		育委員		課名	教	育総務	課	主務語	果長名		吉川 和宏				内 彩子
	**51	○ 1 ソフト			3 経常的事務				仓·負担金		至		1 値	営		部委託
	事業区分	○ 2 ハード	事業	Ō	4 施設の維持	管理	Ö	内部管	管理事務	・その	他事業	美運営方法	2 -	-部委託	✓ 4 補	助等
		基本構想(政	(策) 3.						実施計	画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(4)	スポーツ	′の振興			0	1 該当		平原	左	~ 平	成年	☑期間	設定なし
		主要施策	(4)	幅広いる	パポーツ活動の	普及位	足進	O	2 非該	当	根	拠法令等	阿波市補	助金交付規則		
		対象(誰を、 何を)	市内小中	中学生												
		目的(どうい	最終的		動能力を適正に 徒の健全な心!								中学校教育	育の充実と発展	を目指しる	ます。
PL		う状態にし たいのか)	今年度		ポーツの振興を						がを味わう	ことのできる	環境づくり	に努めます。		
A		具体的にどの	りような流	舌動を行し	いますか。(主な	よもの!	5つまで)								
N		① 検定会や	記録会を	行い、児童	童の運動能力や	記録♂)向上を	図ります	0							
	事業の	② 体育指導	者の研修	多会や講習	⁷ 会を行い、指導	技術σ)向上を	図ります	0							
	活動内容	③ 各種競技	会を通じ	て、生徒の	対競技能力や記録	録の向	上を図り	ます。								
		0 11 1	一ツ活動	を通じて、	生涯体育・スポー	ーツへ	の関心・	意欲を高	らめます。							
		5														
		指標名	<u> </u>	計算式又	スは指標設定理	曲 .	単位		平成	28 左		平成 29		平成 30		最終目標
	数値目標	補助金の交付額((小)	 費用対効	果を高めるため			目標			216		239		239	
	(事業の目的			201101				実績			216		239			
	及び活動内 容の達成度	補助金の交付額((中)	費用対效	果を高めるため			目標			540		532		500	
	春の達成度 を測る指標)			1				実績			540		532			
	C 9.14							目標 実績								
	予算費目	会 計			会計		款	天 _根 10 教育			項	1 教育総		H 2	事務局費	B.
	丁开只口	ДП	<u> </u>		8 年度決	首 :	平成	29	年度決	- 笛	平成		度予算		備考	2
		国庫支出		190 -		千円	1 /2		1 12/1	千円	1 194	00	千円		ν σ · σ	
		<u> </u>	金			千円				千円			千円			
		地方	債			千円				千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則			=	千円				千円			千円			
0		一 般 財	源		756 ⁻	千円			771	千円			739 千円			
		計(A)			756 ⁻	千円			771	千円			739 千円			
		正職員工数·糺		人 800.	47	千円	ر 800.0	\ \	47	千円	0.008	人	46 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職	战種													
		臨時·嘱託工数·	経費	人	0 =		7	\ \		千円		人	0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			803 =	千円			818	千円			<mark>785</mark> 千円			

				チェ	ック項目				— 汝	評価			次評価の記	台田		— _次	(評価	
		1	市が宝施した			が確保できる等	年の金属				1 3		関心や自ら					
		' '				影響は大きくな		0	少ない	● 大き	ど	欠、運動の	の楽しさや喜	びが感じら	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	E度以降実施	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	ある		いる環境′ 【います。	づくりの重要	性が増し	0	ない	•	ある
	性					方法等の改善の		0	ある	● ない	ま	た、中学	生の健全な		0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			自治体と比較し	ノてニーズを 	0	いる	● いな			とめには、体 振興は必要		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	必ずしも適切とロ	まいえない。	0	いえない	いえる			ポーツの振興 ₹や体力づく		0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ネリ化など、旅	施策への貢献度	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	いえる	るし	、スポー	ツへの関心		0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	類似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	しない	い	育スポー	できます。 −ツ活動を通		_	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期待	できない。		0	できない	● できる			次や能力向」 と促します。	Ł、ひいては	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		0	目標に比っ	べて劣ってい			への関心や意		0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	ちまり上がっ	ていないと思う	5 .	O i	あまり上が	っていない	習		う、講習会等		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成して	いると思う。		• *	概ね達成	している			って運動に親し 建康維持、体力		•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		O .	十分達成	している	今	後も継続し	た取組みが必	要です。	0	十分達成	してい	ৱ
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,			0	高い	適当		業の実施	施について、 ます。	、適正に行	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウギ	り 新たな制度	を活用できる。		0	できる	● できれ		. ,			0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	き、実施手段	(等を見直す余地	也がある。	0	ある	● ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどによりコ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	● ない					0	ある	•	ない
					一次									評価				
	評值	点面	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ú	◇要性		効性	達成度	効率性	生	総	合評	価
	<u>اد د</u>	後の	4	4 実 ┃ ○ 現∜	3 ├維持 <i>[6</i>	_ 4 〕方法改善	○ 民間委 記	千笙	0	 拡大∙充		4 ┃ 〕 現状	3 維持 @	_ 4 〕方法改善	Ė.		A 引委記	华
A		句性	<u> </u>	統合/終			〇 民间安日			縮小		<u></u>				O KIF	1341	U 47
C										-				ひ一次評	価と	の相違点	į	
T						応じた効果的な? 対象とした活動も				日標を達	:成して	いると思	われますが	、効果的な事	丰業 (カ窓となる	ようキ	命討して
0	_, _	+												ともに肥満対				
N		草案 電行 画	補助金の査定 います。	にあたっては、	、事業の実施	内容等を精査し	、適切な金額語	没定を行	144-1-	.努めます								
		曼会 事項							_									

	No. 31 —	3 基本事務事業	名 PTA	連合会育	『成事業	事務事	業名 PTA	A連合会育成	事業			一卜作成日 平成30:	年7月20日
	部局名		育委員 3		PTA	教育総	務課	主務課長	名	吉川			内 彩子
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務			金・負担金・ヲ		幸 雷 岩	当方法 □ 1 直		全部委託
	争未应力	○ 2 ハード事			4 施設の維持領	管理	6 内部管	管理事務・そ	の他 ^サ	木连			甫助等
		基本構想(政策						実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施領					0	1 該当	平		年 ~ 平		記定なし
		主要施策	(3)	家庭や地	!域との連携・協	引働	<u> </u>	2 非該当	相	拠法	令等 阿波市補	助金交付規則	
		対象(誰を、 何を)	∖学校、□	中学校PT/	Ą								
	事業の 対象・目的	目的(どうい り)	是終的	心豊かで	たくましい子どもた	たちの育成	を願い、学	や校を支援し、	学校∙家庭∙	·地域(の絆を更に深める流	舌動を目指します。	
PL		たいのか) 4			፟交・地域の連携を			皇全育成を図り	ます。				
AN					ますか。(主な		で)						
N)			り、学習活動を行								
	事業の)	会等関	係組織の	実施する各種研	修会に積極	的に参加	し、交流や連携	馬を深め、F	TA活	動に生かしていきま	とす。	
	活動内容	3											
		4 5											
		指標名		は答せて	(は指標設定理)	由		平成 28	左由	V/	成 29 年度	平成 30 年度	■最終目標
		担保有		引 昇 丸 メ	は相係改化理		目標	十八 28	<u> 平及</u> 138	7	70 29 平及 138	十八 30 千尺 131	
		補助金の交付額		費用対効	果を高めるため		実績		138		138	101	
	(事業の目的 及び活動内						目標		100		100		
	容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会計	•	一般	会計	款	10 教育	育費	項	1 4	教育総務 費	目 2 事務局	費
			平	成 2	8 年度決算	平成	29	年度決算	平成	30	年度予算	備考	
		 -											
		国庫支出			千	円		千円			千円		
		県 支 出	金		千	円		千円			千円		
		県 支 出 地 方	金 債		千 千	円 円		千円 千円			千円 千円		
D		県 支 出 地 方 その他特定財	金 債 源		千 千 千	円 円 円		千円 千円 千円			千円 千円 千円		
DO		県 支 出 地 方 その他特定財 ー 般 財	金 債		+ + + + 138 +	円 円 円		千円 千円 138 千円			千円 千円 千円 131 千円		
		県 支 出 地 方 その他特定財 一 般 財 計(A)	金 債 源 源	204	千 千 138 千 138 千	円 円 円 円		千円 千円 千円 138 千円 138 千円			千円 千円 131 千円 131 千円		
	直接事業費	県 支 出 地 方 その他特定財 一 般 財 計(A) 正職員工数・経	金 債 源 源 費 0.0	004 人	+ + + + 138 +	円 円 円 円		千円 千円 138 千円		人 人	千円 千円 千円 131 千円		
	直接事業費 人件費(B)	県 支 出 地 方 その他特定財 一 般 財 計(A)	金 債 源 源 費 0.0	004 人	千 千 138 千 138 千	円 円 円 円 円 の.0004	Д Д	千円 千円 千円 138 千円 138 千円	0.004	人 人	千円 千円 131 千円 131 千円		

				チュ	こック項目					_	-次評	価		_	-次評価	の説	明		二次	評価	i
		1.	市が実施しな主体があり、	くても、公 ^立 事業を廃止					0	少なし	, (C)大き	きい	社会教育	ちの健全 団体組織			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	∜況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある)	活動は重	要です。			0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向						0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ)低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	、 てニーズを	0	いる	C	いな	ίlι					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を乳	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	il (いえ	<u>る</u>		ちの教育の			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢献	忧度か	著しく高いと	はいえない。	0	いえな	iv 🦲	いえ	.a	自覚や意	識を高め	るたる	めには、	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	施策の中で舞	領似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	ı۱۱	PTA字省	'活動支援	は有	効です。	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できな	il (でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標は	比べて	劣ってし	いる	PTA会員	の学習や		活動の	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	けして成果があ	あまり上が	って	いないと思う	j _o	0	あまり.	上がって	いない		ル夫に先	ימ) כני ב	9 0		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね遺	達成して	いる						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		Ō	十分道	達成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	,\ _o				0	高い	•	適当	当		動予算は り、効率性			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ*	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	でき	ない	されてい		בו או	刀框体	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	むがある 。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	力方法の変更な	などにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない	١	1				0	ある	•	ない
		·			<u>—</u> г	欠評	価								=	次評	·価				
	評化	正点	必要性	有効性	達成度	,	効率性	総合評	価		必要	• • – –	7	与効性	達成	度	効率	生	総	合評	·価
	<u> </u>	後の	4 ○ 拡大·充	4 :実	<u> 3</u> ∵維持	$\overline{}$	4 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙	1		· 大·充	<u> </u> 宝	4 ┃○ 現∜	<u>3</u> 大維持		4 方法改善	É		A 表記	 £笙
		句性	○ 縮小	○ 統合/終			<u> </u>	〇 民间安日						統合/終			<u> </u>		O KIF	1340	
C			0 112	O MOZA			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					-	二次	評価での					の相違点	į	
ACTIO	当言課	面の	厳しい財政事 活動を求めま	情に対応する す。	ため、予算の	の見	直しを検討し、	それに応じた	効果的	1:				に対する 信頼関係:						<u></u>	早の担併
N	وع	革案 実行 ·画	補助金の査定 います。	 ごにあたっては	、事業の実	施内	容等を精査し	、適切な金額語	受定を		不設句に努めて		ردس	10 49 (天) (木)	企 134 16 サイ	ערעי	バー、初木	13 ' ው ገ	Г	<i>≫</i>	勿♥プ]足 六
		員会 事項																			

	No. 31 —	4 基本事務事	業名教	育会振	興事業	=	事務	事業名	4 教育	子会振興	事業		1	公的関与	9	シート作り		平成30:	年7月20日
	部局名	孝	育委員	会		PTA	教育	総務誤	Ę.	主務語	果長名	1	吉川	和宏	シ	ート作成	者名	竹	内 彩子
	事業区分	1 ソフト	事業	(<u> </u>	経常的事務	事業	5	補助st	è•負担金	è·支持	爱	秦.温·	営方法	1	直営		□ 3 €	全部委託
	争未应力	○ 2 ハーF				施設の維持	管理	6	内部管	管理事務	・その	他	未建品	5刀丛	2	一部委託	E		甫助等
		基本構想(政	(策) 3.	人が輝	き合う	阿波				実施計	·画				事	業の開始	ⅰ終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(1	1)学校教	教育の	充実			0	1 該当		平	成	年	~ 2	平成	年	✓ 期間	間設定なし
		主要施策	(2))「生き抜くナ	り」と「郷土	:愛」の育成を重視	見した教育内	容の充実	①	2 非該当	当	根	拠法	令等	阿波市	補助金交	付規則		
		対象(誰を、 何を)	市内の	幼稚園、	小学校	を、中学校の知	幼児・児童	直∙生徒	及び教	対職員や係	護者								
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	<mark>勺</mark> 阿波市	方にいけ	ける学校教育	活動の発	き実及び	発展	を目指しま	す。								
PL		たいのか)	今年度	各種化	作品展、	コンクール等	等を開催し	人、各分	·野へ0	⊅興味•関	心を高	高め、活動	意欲	を高揚さ [.]	せます。				
AN		具体的にどの																	
N		① 各教科・2	分野にお	らける作品	品展、=	コンクール等で	を実施し、	日頃の	学習2	や活動の原	戊果発	表の場を	設け	ています。	0				
	事業の	② 市内中学	校の生	徒会本部	8役員の	の交流・研修	を行いま	す。											
	活動内容	③ 教職員·F	TA会員	を対象	とした文	化講演会を	開催しま	す。											
		4																	
		5																	
		指標名	各	計算:	式又は	指標設定理	由単			平成	28 :	年度	平	成 29	年度	平原	戈 30		最終目標
	数値目標	補助金の交付額		書田☆	计効果を	を高めるため	,		目標			385			38			385	
	(事業の目的	1111/15 = 17 7 17 1111		527137	.17917/	_ 0]07 @7207			実績			385			38	5			
	及び活動内								目標										
	容の達成度 を測る指標)								実績										
	で例の指標/								目標										
	3 to # 5	A =11			4n A =				実績						~ =#b				
	予算費目	会 計			-般会詞) 教育		<i>h</i> -h-	項		教育総務			2	事務局	貫
				平成	28	年度決算		<u>火</u>	29	年度決		平成	30	牛	度予算	_		備考	
		国庫支出県支出					-円				千円				<u>千</u> P	_			
			金債				-円				千円				千円	_			
D	直接事業費	地 方 その他特定!					-円 -円				千円 千円				千P 千P	_			
0		一般財	源源			385 +				385	千円			2	サウ 385 千円	_			
		一 成 知 計(A)	//示			385 +					千円				885 ∓P				
		正職員工数:	経費 (0.004	,	23 +		04 人		24		0.004	7		23 ∓P				
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		0.004		20	1 0.0	от		- 27	111	0.004	<u>ハ</u>		20 11	-			
		臨時·嘱託工数·			Λ.	0 1	- P	人		0	千円		人		0 ∓P	9			
	全休事:	業費(A+B)	1250		`	408 =				409			/\		LOS IP	_			

					ック項目				— <u>}</u>	欠評価		_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	i
		1.				生が確保できる も影響は大きく		0	少ない	O 7	大きい	文化の振	び児童生興を図る	ためし	こは、教	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	状況の中、次年	F度以降実施	をする緊急性が	認められない。	0	ない	d d d d	ある	育会活動います。	は重要な	役割	を担って	0	ない	•	ある
	性					方法等の改善の		0	ある	● t	ない	0.49.				0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自治体と比較	してニーズを	0	いる	⊙ ι	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容が	が必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	· • u	ハえる		「波市を担 教員の資気			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢献	度が著しく高いと	こはいえない。	0	いえない	(O (ハえる	や児童生	徒の学術	活動	への支	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頂似・重複し	した事務事業が	存在する。	0	する	⊙ ι	しない	接は、意 ます。	欲の向上に	こもつ	なかり	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期待	寺できない。		0	できない	• • 7	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		0	目標に上	とべて劣っ	ている		·種活動の ·分設けら			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上がっ	っていないと思	う。	0	あまり上	がっていな	:L\	童生徒の	更なる活	動意		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成して	ていると思う。		0	概ね達用	成している		揚が期待	できます。)		0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成し	していると思う	o	0	十分達	或している						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが高い	10			0	高い	(i	適当		動予算は記 り、効率性			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウヤ	か新たな制度	度を活用できる	0	0	できる	O 7	できない	されてい		:14-1	刀堰床	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手具	役等を見直す余	地がある。	0	ある	● t	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより=	コスト削減の余	地がある。	0	ある	● t	ない	1				0	ある	•	ない
					一次	マ評価							Ξ	次評	価				
	評値	甲	必要性	有効性	達成度		総合評	呼価		必要性	7	有効性	達成原	茰	効率	生	総	合評	価
	<u></u>	を の	4 ○ 拡大·充	 4 E実 ● 現物	 4 +維性 /	 4 ○ 方法改善	A ○ 民間委託	1生	С	<u> 4</u>	- 女宝	4 │○ 現状	<u>4</u> に維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 表記	 £笙
		句性		· 大 		〇 廃止/休止	〇 民间安日	164	—			統合/終			<u> </u>		O KIE	又口	<u></u>
A	/31		C all 1		W111X X	<u> </u>				V 4410 - 3		評価での					の相違点	į	
ACTIO		面の	厳しい財政事	情に対応する	ため、それに	応じた効果的な	活動を求めます	۲。	杰	甲がため		開催等に							
N	と多	革案 実行 画	補助金の査定います。	 Eにあたっては.	 、事業の実施	拖内容等を精査し	、適切な金額:	受定を		ሉ የነ'ራዝ	- III (K)	/川唯守に	ሖ ወተጀት	秋 月 /1	ョ轫Ⅵ兀ラ	大1〜分	14747。		
		員会 i事項																	